

## 市P協 令和5年度 専門委員会「情報交換会」最終回

日時 3月11日(月) 10:00~12:00まで

場所 神戸市総合教育センター 8階(806)

### 報告

司会:齋藤 協議会長)

[委員9名参加]

最終回ということで、「1年間を振り返って」「次年度への申し送り」について協議した。

齋藤会長から。今回教育長がPTAに深く関わりのある方がなられことに期待したい。PTAもコロナ以前からの古いPTA活動に拘り、進めていたかもしれない。これからの協議会の活動のヒントとなるような課題を出していただきたいと挨拶があった。

前段に、三浦監事から、前回紹介した、工藤勇一氏の書籍「子供たちに民主主義を教えよう」から、心に残った言葉をピックアップし、解説いただいた。

「誰一人置き去りにしない社会」を作るために、対立でなく対話をもって物事を解決する方法を見つきたい。PTA活動の目的は子供たちのためは当然として「大人が民主主義を学ぶ場」であるなどポイントに挙げ、お話しいただいた。

委員からの声(様々な視点から)

- 来年度の活動に役立てられるような研修会、講演会のための講師リストを共有。
- 今年度に引き続き「不登校」を取り上げてほしい。
- 教員の働き方改革もあって、なくなる活動の情報は、決まった事ではなく、PTAの考えも聞けるような時間を。
- PTA活動に協力いただけそうな地域団体の紹介
- 子供の教育ために何ができるのかなど、学校内外の情報交換の場の提供。
- 不登校の子が増えており、その親も含むPとT、支援者との情報交換や共有の場の提供。
- 子育てに悩む親のための講演会。
- 単位PTAの会則(規約)についての情報共有。(他都市も参考に)
- 単位PTAの活動引継の方法。「やり方」だけでなく「想い」も含む。
- 地域性もあるが、協力いただく場面もあるPTAのOBの方との関係性を良好に。
- ペーパーレス化、すぐ～る配信活用により役員の負担が減った。自身の担当にかかわらず困っていれば手助けする事で全員の負担減。
- PTA活動を通じての人同士のつながり。「楽しくやっている姿」は子供に伝わる。
- PTA活動を「なくす」前に「見直す」ことが大切。
- 市P協の全市的なスケールメリットを活かした「隣の学校の様子」、OB講師によるセミナー等、会員と一緒に何か出来たら
- 単位PTAや代表へダイレクトに、協議会情報を伝えるため、メールアドレスの提供協力。

・・・等、建設的な発言があった。

これらを協議会として実現していくためには、会員(単P)の声とご協力が絶対です。次年度につなげるためにも次年度は参加いただきたいと期待します。

末筆乍ら、この一年間熱心にご参加いただいた委員の皆様には心からお礼申し上げます。